

令和元年度 事業報告

(公財)ふるさと島根定住財団

I. 事業実績の総括

当財団は、県内就職の促進、U I ターンの支援に取り組むため、平成4年に設立された。(平成23年4月に公益財団法人に移行)

以来、事業規模を拡大し、以下の三つの大きな柱を中心に、定住を促進する事業を展開している。

- 1：若年者の県内就職の促進
- 2：県外からのU I ターンの促進
- 3：活力と魅力ある地域づくりの促進

上記の取組みは、これまでも県の基本計画等に示されてきたところであるが、本事業年度中に県において新たに策定作業が行われた、県の最上位の行政計画である「島根創生計画(令和2年3月策定)」及び「島根県雇用対策計画(令和2年3月策定)」、「島根県県民いきいき活動促進基本方針(令和2年3月第3次改訂)」の施策に位置付けられるところとなり、県の主管部局(地域振興部、商工労働部、環境生活部)と常に連携を図りながら、事業の執行にあたった。

なお、本事業年度は、県の従来計画(平成28年度～平成31年度)の最終年度であり、財団関連では以下の成果指標において平成31年度(令和元年度)の目標値が設定されていたが、目標の達成状況を意識しながら事業の実施に努めた。

- ・県内高校の進学予定者のうち学生登録者の割合(R1年度：100%)
- ・ジョブカフェしまねでの大学生インターンシップ実施件数(R1年度：450人)
- ・U I ターン希望者の産業体験終了後の年間定着者数(R1年度：53人以上)
- ・島根ふるさと情報登録事業の登録者数(R1年度：3,000人)
- ・U I ターン希望者の無料職業紹介による就職決定者数(R1年度：270人)※
※無料職業紹介による就職決定者数は、平成28年度に取組目標値を再設定 210人→270人
- ・しまね田舎ツーリズムの体験施設数(R1年度：350施設)

また、年度終盤は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な事業やイベント、対面式の相談業務、移住希望者の現地案内、外部専門家の地域団体への派遣など、地域や支援を必要とする方々に寄り添う財団ならではのあらゆる取組みの中止判断をせざるを得ない緊急事態となった。状況は刻一刻と変化し、悪化の一途をたどる中において、オンラインや情報機器などを活用した代替策の対応を検討し、早急かつ具体的に実施するなど、職員や来所者双方の健康管理にも配慮しながら、緊急事態に対し柔軟かつ最大限の対応を行うことに努めた。

以下、3つの柱の主だった事業の実績、課題等について報告する。

1. 若年者の県内就職の促進

(1) キャリア相談事業

○キャリア相談事業はジョブカフェの主要なサービスの一つに位置付けられる。

○個別キャリア相談数は、9つの段階に応じ就活力を向上させるプログラム「Step 9」の導入などにより平成29年度は過去最高を記録したが、平成30年度からアドバイザーの産休等体制が整わなかったこともあり、2年続けて4,500人程度と伸びを欠いた。内訳としては、松江センター 3,270人（前年比+47人）、浜田ランチ 1,355人（前年比+120人）と、現状体制の中で努力した結果、それぞれ増加している。特に浜田は、職員の相互連携により十分な対応をした。

○県内就職の促進に向けては、大学等を通じてジョブカフェの早期利用の促進に向けた働きかけを行うとともに、学生向けのイベントの際にジョブカフェの紹介などを引き続き行った。

また、高校・大学等の要請に応じて実施する出張セミナーは、年度終盤でコロナウィルスの影響等もあり、前年より若干減少し年間69件（前年比▲7）を実施した。

○松江センターにおいては、新規学卒者及び既卒者対象を対象とした小規模面接会に併せ、就活における様々な場面を想定したテーマ別のミニセミナーを開催した。

○島根大学と県立大学松江キャンパスにおける出張相談や県立大学でのセミナー実施など、大学と連携した相談対応等にも引き続き取り組んだ。

単位：人（）：率

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
来所者(延べ人数)	11,019	9,822	7,981	7,556	7,407	8,364	8,475	7,642	7,253
松江センター	8,222	7,572	6,821	6,175	6,159	5,765	6,273	5,828	5,450
浜田ランチ	2,797	2,250	1,160	1,381	1,248	2,599	2,202	1,814	1,803
個別キャリア相談	4,694	4,366	4,678	3,971	3,943	4,763	5,192	4,458	4,625
松江センター	2,864	2,854	4,059	3,340	3,400	3,113	3,758	3,223	3,270
浜田ランチ	1,830	1,512	619	631	543	1,650	1,434	1,235	1,355
学 生	2,452 (52.2)	2,199 (50.4)	2,384 (51.0)	1,901 (47.9)	2,235 (56.7)	3,234 (67.9)	3,515 (67.7)	3,144 (70.5)	3,111 (67.3)
既 卒	2,242 (47.8)	2,167 (49.6)	2,294 (49.0)	2,070 (52.1)	1,708 (43.3)	1,529 (32.1)	1,677 (32.3)	1,314 (29.5)	1,514 (32.7)

(ジョブカフェ来所者・相談実績)

(2) しまね学生登録制度の登録者拡大

○平成9年度から開始したこの登録制度は、学卒者の就職支援の中でも重要な事業の一つと位置付けている。

○高校卒業時の登録に際し、高校の協力が不可欠なことから、平成23年度から現役高校教員の派遣受け入れや高校との連携強化を図るとともに、平成26年度には登録の仕組みを簡素化するなど登録者拡大に取り組んできた。

○登録者数は、そうした取り組みの効果もあって伸びており、平成29年度末には1万人を超えた。令和元年度末の登録率は、県と連携して丁寧な学校訪問を重ねるなどの効果もあって12,030人と過去最高を記録した。

(しまね学生登録の登録状況)

(単位：人)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
有効登録者	3,428	4,189	4,474	5,483	6,857	8,977	10,490	11,319	12,030
新規登録者	1,758	2,535	1,839	2,962	3,356	4,370	4,020	4,192	4,074

〔高校卒業時登録率の推移〕 70.4% 72.6% 78.3% 77.4% 83.3%

<就活生向けの取組み>

(3) 企業ガイダンス等の効果的实施

○企業の参加意欲は高く、申込企業数は増加している一方で、参加学生数は減少傾向である。学生と接する貴重な場の提供はできているものの、十分な数の学生を企業と繋げることができておらず、企業側の満足度を満たすのが難しい状況。その要因としては、就活の早期化・効率化、売り手市場・大手志向や就活イベントのインフレ状態が想定される。

○平成30年度からは、県外企業ガイダンスの開催手法・時期を見直し、就職活動解禁前の11月から12月に東京・大阪・広島において、県と「就職支援に関する協定」を締結している県外大学と連携した業界研究イベントとして合同企業交流会や、低学年次の学生を対象とした、しまね企業交流セミナー(しまねタイム)を実施した。

○なお、令和3年3月末卒業生に向けて、就職活動開始時期に合わせ、3月に松江・浜田の2会場で行う予定だった企業ガイダンス(合同説明会)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応により中止し、準備した資料などを、Web企業ガイダンスとしてジョブカフェしまねのホームページ上で公開するなど、代替の支援策を講じた。

○新卒者の県内就職を促進するためには、低学年次から県内企業について知ってもらうことが重要であり、県外学生が帰省する年末(12月27日)に、全学年の学生を対象とした「年末しまねジャンボ企業博」を引き続き開催した。

■県内ガイダンス

イベント名		27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
松江(年末) (くにびきメッセ) 企業博	開催日	12/27(日) ※企業博	12/28(水) ※企業博	12/28(木) ※企業博	12/28(金) ※企業博	12/27(金) ※企業博
	参加者数	330人	522人	414人	356人	324人
	参加企業	100社 4団体	121社 6団体	134社 3団体	164社 4団体	168社 5団体
松江(春) (くにびきメッセ)	開催日	3/6(日)	3/7(火)	3/3(土)	3/4(月)	3/5(木)
	参加者数	619人	535人	514人	414人	中止
	参加企業	203社 3団体	203社 3団体	207社 3団体	240社 3団体	

浜田(春) (いわみーる・ 武道館)	開催日	実施なし	実施なし	3/14(水)	3/20(水)	12/9(月)
	参加者数			41人	27人	50人
	参加企業			42社 3団体	69社 2団体	6社
松江(5月) (くにびきメッ セ)	開催日	6/6(土)	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし
	参加者数	285人				
	参加企業	140社 4団体				
浜田(4・5月) (いわみーる・ 武道館)	開催日	5/30(土)	実施なし	5/21(日)	4/29(日)	5/19(日)
	参加者数	45人		68人	62人	41人
	参加企業	43社 3団体		62社 5団体	81社 5団体	68社 7団体

・浜田で3月に実施してきたガイダンスについては、R1年度は開催時期を12月に前倒し、全学年対象の業界研究イベントとして実施

■県外ガイダンス等

イベント名	H27年度		H28年度		H29年度			H30年度	R1年度
広島	開催日	4/18 (土)	3/29 (火)	としま(18卒) 3/25(土)	単独 4/22(土)	としま (19卒) 3/24(土)	11/17 (土)	6/15 (土)	
	参加者数	135人	83人	65人	25人	53人	33人	28人	
	参加企業	66社	68社	67社	30社	73社	13社	11社	
	(内県内)	39社	44社	44社	17社	47社			
大阪	開催日	5/17(日)		としま 4/9(土)	としま (18卒) 4/16(日)	単独 5/14 (日)	としま (19卒) 3/17 (土)	11/10 (土)	6/22 (土)
	参加者数	190人		206人	143人	14人	102人	16人	23人
	参加企業	78社		96社	96社	28社	95社	15社	11社
	(内県内)	33社		37社	37社	17社	37社		
東京	開催日	5/23(土)		としま 4/16 (土)	としま (18卒) 3/11(土)	単独 4/29 (祝土)	としま トークフェス 1/13(土)	12/1 (土)	6/22 (土)
	参加者数	73人		60人	40人	15人	61人	17人	10人
	参加企業	48社		42社	49社	25社	30社	9社	10社
	(内県内)	24社		22社	25社	14社	15社		

・鳥取との合同開催(としま)はH29年度まで実施

・H30年度からは、就職支援協定校と連携した合同企業交流会(業界研究イベント)を県単独で実施

■県内就職フェア

イベント名		27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
就職フェアしまね(春期)						
松江(くにびきメッセ) 主催:定住財団	開催日	実施なし	6/12(日)	6/10(土)	6/16(土)	6/2(日)
	参加者数		271人	215人	186人	171人
	企業数		155社	123社	130社	155社
浜田(いわみーる) 主催:定住財団	開催日	実施なし	6/18(土)	実施なし	実施なし	実施なし
	参加者数		14人			
	企業数		44社			
就職フェアしまね(夏期)						
松江(くにびきメッセ) 主催:定住財団	開催日	8/12(水)	8/27(土)	8/12(土)	8/11(土)	8/14(水)
	参加者数	250人	124人	170人	105人	129人
	企業数	127社	119社	118社	120社	115社
浜田(いわみーる) 主催:浜田・江津雇推協 ※定住財団共催	開催日	8/9(日)	8/21(日)	実施なし	実施なし	実施なし
	参加者数	34人	14人			
	企業数	39社 (内福祉21)	29社			
益田(市民学習C) 主催:益田雇推協 ※定住財団共催	開催日	8/15(土)	—	—	—	—
	参加者数	23人	—	—	—	—
	企業数	23社	—	—	—	—
就職フェアしまね(秋期)						
松江(松江テルサ) 主催:定住財団	開催日	10/31(土)	10/29(土)	10/14(土)	10/15(月)	10/23(水)
	参加者数	102人	46人	53人	52人	54人
	企業数	46社	40社	50社	49社	48社
就職フェアしまね(冬期)						
松江(くにびきメッセ) 主催:定住財団	開催日	1/29(金)	実施なし	1/20(土)	実施なし	実施なし
	参加者数	27人		15人		
	企業数	27社		15社		
浜田(いわみーる) 主催:定住財団	開催日	1/24(日)	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし
	参加者数	3人				
	企業数	21社				

・H29年度1/20(土)は、H30.3卒生及び一般求職者を対象とした企業説明会として実施

<低学年次学生向けの取組み>

(4) しまね学生インターンシップ

○大学、短期大学、高等専門学校及び専修学校の卒業前年次までの学生を対象とした、県内企業での「しまね学生インターンシップ」は、学生、企業双方の関心は引き続き高いが、企業からの申込件数は、前年と同じ 285 社。また、インターンシップは、1 Day や長期実践型など多様化していることから、当財団を經由しないインターンシップへの学生の参加もあり、H30 は申込学生が減少したことから呼びかけなどを丁寧に行い、申込学生数は、424 人（前年比+15 人）と増加した。

■インターンシップ実績

単位：人・社

	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度	
	学生数	企業数	学生数	企業数	学生数	企業数	学生数	企業数	学生数	企業数	学生数	企業数
夏期	231	83	266	99	325	111	326	122	330	111	347	99
春期	115	63	159	73	128	75	110	53	79	38	92	54
計	346	146	425	172	453	186	436	175	409	149	439	153

※企業数：マッチング企業数 学生数：参加者延べ数

○インターンシップ参加学生（大学生）の宿泊費等の助成は、年度末から要件緩和し広島などからも対象可としたが、44 人（前年比▲1 人）と、横ばいであった。

(5) しまね企業交流セミナー「しまねタイム」の実施

○県内就職の魅力を伝えるため、都市圏（東京・大阪・山陽）において、低学年次の学生を対象とし、県内で活躍する企業人・社会人と学生が交流するセミナーを実施した。

東京：3 回開催、参加者延べ 34 人

大阪：3 回開催、参加者延べ 60 人

山陽：3 回開催、参加者延べ 37 人 計 131 人

<定着支援のための取組み>

(6) 若手社員交流会の実施

○若年者の職場定着を図るため、県内で就職した若者の交流の場となる若手社員交流会を開催した。

松江：企業数延べ 54 社、参加者数延べ 89 人

石見：企業数延べ 15 社、参加者数延べ 196 人

※石見については、西部高等技術校と共催

(7) しまね大作戦会議の実施

○企業等の組織でそれぞれのポジションにある社会人（経営者、中間管理職、新入社員）及び内定者がグループワークでの対話を通じ職場での円滑なコミュニケーションの実現、組織の在り方を考える会議を松江・浜田で開催した。

テーマ	開催日	内容	場所	参加数
しまね大作戦会議 ～心理的安全性の つくり方を学ぶ！～	1/23 (松江会場)	心理的安全性のつくり方 (講演・ワーク等)	くにびきメッセ 小ホール	58 人 (47 社)
	1/24 (浜田会場)	心理的安全性のつくり方 (講演・ワーク等)	西部県民 C 大会議室	16 人 11(社)

2. 県外からのUターン促進

○財団は設立当初から島根県のUターン総合窓口として、県や市町村及び関係機関等と連携しながら、Uターンの促進に積極的に取り組んできた。

○島根県発表の平成30年度のUターン者数実績は、平成29年度に比べ216人減の3,900人となった。Uターン(▲126人)、Iターン(▲93人)といずれも減少となり、平成27年度に転入調査票により確認を開始してから初めて4,000人を割ったことなども念頭におき、Uターンフェアや相談会の周知において、SNSを含むあらゆる媒体を用いて情報発信に努めた。

(1) 無料職業紹介事業

○Uターン者の求職登録者数及び求人数ともに増加傾向にある。とりわけ、人材獲得競争の激化や積極的な企業への「くらしまねっと」の周知もあり、企業からの求人数は大幅に伸びている。

○「くらしまねっと」の活用やきめ細かい求職登録者への対応及び企業体験支援事業等の効果もあり、マッチング件数は順調に増加しており、令和元年度の就職決定者は316人と8年連続で過去最高を更新した。

(無料職業紹介事業の実績)

区分	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末
求職登録者	1,336人	1,613人	1,827人	1,835人	1,862人	2,010人	2,051人
求人数	1,090人	1,530人	2,021人	2,308人	3,688人	4,700人	5,898人
有効求人倍率	0.82倍	0.95倍	1.11倍	1.25倍	1.98倍	2.34倍	2.88倍
就職決定者	125人	181人	255人	262人	305人	312人	316人

(2) Uターンしまね産業体験事業

○平成8年度の制度創設以来、体験者の約5割が引き続き県内に定着するなど、効果の高い財団の老舗事業である。平成23年度には滞在費助成の引き上げ、平成25年度には対象産業に介護の追加、及びこれまで対象外であった実家にUターンし産業体験を行う者を助成金支給の対象とするなど、様々なニーズを取り入れながら事業を実施してきた。

○令和元年度の新規認定者数は、ほぼ前年度並みの83人ではあったが、年度終盤は、コロナウィルスの影響もあり若干伸びなかった。

(内訳) 農業38人、畜産10人、林業11人、漁業13人、その他11人

○平成8年度から平成30年度までの体験者数の累計は、1,906人、うち定着者数は968人となり、前年度より62人増加した。

(産業体験事業の実績[令和元年度末])

(単位：人、%)

認定年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	H8~R1
認定者	42	55	83	60	81	83	90	90	88	83	2,010
体験終了者	42	55	83	60	81	83	90	68	64	9	1,906
うち定着者	23	37	58	36	55	68	72	60	49	6	968
定着率	54.8	65.5	69.9	58.3	67.9	80.7	80.0	82.1	76.6	(-)	50.8

(3) Uターンに関する情報発信

○定住関連情報や生活情報、Uターン者の声、Uターン支援情報などを総合的に提供するUターン総合サイト「くらしまねっと」(平成22年8月開設、平成28年3月にリニューアル)により情報発信を積極的に行った。

○東京、大阪、広島で開催した「しまねUターンIターンフェア」では、WEB広告など広報を強化したが、大阪・広島の各会場は、ほぼ前年並みの来場者だったものの、東京は会場が例年と異なる場所だったことも影響したか、757人と伸びず、前年比▲545人となった。ただ、アンケートの状況などから滞在時間は伸びており、本気度の高い来場者が多かったとも考えられる。今後は、ターゲットの明確化など、開催方法の検討が必要な時期に来ている。

R1 実績					H30 実績				
日付	会場	全体来場者	相談者数		日付	会場	全体来場者	相談者数	
			組数	人数				組数	人数
9/15(日)	【大阪】 コングレコン ベンションセ ンター	496	103	138	9/2(日)	【大阪】 コングレコン ベンションセ ンター	528	121	173
10/14 (月・祝)	【広島】 基町クレド	234	63	50	1/27(日)	【広島】 基町クレド	253	44	58
11/16 (土) 17 (日)	【東京】 池袋サンシャ イン	757	135	170	10/20 (土) 21 (日)	【東京】 国際フォーラ ム	1,302	159	208

■しまねUターンIターンフェア会場別来場者数 年度別実績 単位：人

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
東京	258	325	551	647	867	905	1,302	757
大阪	240	275	390	387	517	484	528	496
広島	80	182	181	246	214	269	253	234
合計	578	782	1,122	1,280	1,598	1,658	2,083	1,487

○Uターンフェアの前後に小規模な相談会を開催するほか、島根に関心がある方が気軽に参加できる夜の交流会を開催するなど、ターゲットに応じた参加しやすい機会を設け、Uターンフェアや求職登録への誘導等を図った。

(4) Uターン者のフォローアップ

○島根にUターンした方々の交流の場として県内2か所で「定住塾」を開催し、仕事や生活面での悩みなどをサポートするとともに、ネットワークづくりを図った。

西部	浜田市	参加者数 9人
東部	西ノ島町	参加者数 38人

(5) 東京拠点の設置

○令和元年9月から、にほんばし島根館内に、「しまね移住支援サテライト東京」として、東京の実態に即した効果的な取り組みを促進するため活動拠点を設け、4名の職員を配置した。その後、にほんばし島根館の移転に伴い、日比谷シャンテに新たに設置された「日比谷しまね館」内に相談コーナーを設け相談員を常駐させることとし、事務の拠点としては、日比谷しまね館スタッフと同居する形で、日比谷シャンテに隣接する帝国ホテルタワー内に事務スペースを確保し、職員を配した。また、ふるさと回帰支援センター内に令和2年度から新たに相談ブースを設置するための諸準備を行った。

3. 活力と魅力ある地域づくりの推進

○若者の県内就職や県外からのUターンを促進するためにも、活力と魅力ある地域づくりの推進が不可欠であることから、課題解決や地域活性化に向けた団体自らが実施する継続的な活動を支援するため、助成事業を軸に地域づくり団体や実践者、NPO法人等を対象にした研修、専門相談、情報発信などを実施した。

○地域活動応援サイト「フレフレしまね」を活用し、県内地域づくり団体の活動事例紹介や事業成果等の情報発信に努めた。

(1) 地域づくり人材育成支援事業

○地域づくりを行う人材や団体の活動に必要なノウハウやスキルを習得してもらうことで、事業が継続・発展していくことを目指し、セミナーを開催した。

セミナー名	形式等	実績
地域づくりセミナー 「成果の導き出し方ワークショップ」	松江市、浜田市、出雲市、益田市で開催。 実施した事業成果の可視化に関するセミナー を助成金の申請時期を考慮して前後期で実施。	47人

○また、地域づくり活動を行っている団体や今後組織化をしようとする方々が一堂に会し、相互の連携を模索するためのきっかけづくり及び他団体から学ぶことによる自分磨きを目的とした第5回「地域づくりオールスター祭」を、朱鷺会館（出雲市）を会場に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止とした。

(2) 地域づくり活動助成事業（地域づくり応援助成金）

○課題解決や地域活性化に向け団体自らが実施する継続的な活動を支援するため、団体の立ち上がり期や新規の活動に対する助成を実施した。

（助成の実績）

区分	申請件数	採択件数	助成額
第1回（6月）	6件	6件	6,310千円
第2回（11月）	7件	7件	8,521千円
計	13件	13件	14,831千円

(3) 社会貢献活動促進事業

○令和2年3月末現在のNPOの法人数は、近年認証数が頭打ちとなる中で、令和元年度に8法人が設立された一方で、6法人が解散した結果、289法人となった。（※前年度末比+2）

○NPO入門講座やNPO法人として必要な事務手続きについて学ぶ「事務局セミナー」等の実務者研修や事務力検定に加え、法人の透明性の確保や業務遂行能力の向上を図るための「ガバナンスセミナー」を実施した。

（主なセミナー）

項目	形式等	実績
NPO入門講座	出雲市・益田市で開催	71人
NPO法人事務局セミナー	連続講座（法務・労務・会計・決算） 浜田市・出雲市で開催	115人
事務力検定	浜田市・出雲市で開催	27人
プレスリリースセミナー	出雲市で開催	41人

○平成21年4月から、県内のボランティア活動等について、広く情報を発信する県民活動応援サイト「島根いきいき広場」を運営し、NPO活動やボランティアに関する情報発信のサポートを行っている。

○平成29年度から3か年事業として実施した「中山間地域・離島におけるNPO創出のための伴走支援事業」では、隠岐の島町、美郷町、津和野町の3か所で、2年間の「ソーシャルデザインスクール」で磨いてきたプランの実現に向けた活動の支援を実施した。

(4) 県内版しまコトアカデミー

○島根県内での関係人口づくりをテーマに、島根県西部を各会場として全5回の連続講座を実施。※令和2年度からは、しまコトアカデミー全体を財団で実施。

- ・受講者数：9名
- ・メイン講師：田中輝美氏（ローカルジャーナリスト）
- ・特別講師：指出一正氏（「月刊ソトコト」編集長（株）sotokoto online 代表取締役）
- ・メンター・プログラムサポーター：竹内希氏（NPO 法人でごねっと石見）

	日時	開催地	主な会場	テーマ	講師
第1回	9月28日（土） 11:00～16:00	浜田市	コワーキングスペース enn 他	わたしとしまねを つなげてみる	田中輝美氏 栗山千尋氏 三浦大紀氏
第2回	10月26日（土） 11:00～16:00	大田市	群言堂 他	わたらしいしま ねのつながり方を イメージする	三浦類氏 竹内希氏
第3回	11月23日（土）～ 11月24日（日）	江津市	江津市内各地	地域の未来をつく るプレーヤーに出 会う	現地で活躍 されている 方々
第4回	12月14日（土） 11:00～16:00	邑南町	レストラン香夢里 他	わたしとしまねが つながるプランを 考える	寺本英仁氏 竹内希氏
第5回	1月25日（土） 11:00～16:00	益田市	MASCOS HOTEL MASUDA ONSEN	しまコトプラン発 表会	指出一正氏 田中輝美氏 三浦大紀氏 竹内希氏

（5）しまね田舎ツーリズムの推進

○田舎ツーリズムは県の事業として平成17年度からスタートし、財団は実践者の掘り起こしやネットワークづくり、具体的なアドバイスなど実践の場での支援を実施してきた。

○農業の傍ら、農家レストランや農家民宿を親子で営む施設を訪問し、その取り組み方や考え方を学ぶため、11月に兵庫県へ出かける県外研修を行ったほか、大田市、美郷町、出雲市、雲南市でテーマごとの県内研修を開催し、延べ76名の参加があった。

○また、住宅宿泊事業法や旅館業法の改正に伴う移行手続きのサポートを行った。

（しまね田舎ツーリズム参加団体等）

（単位：団体・戸）

	24 年度末	25 年度末	26 年度末	27 年度末	28 年度末	29 年度末	30 年度末	R1 年度末
登録施設数	236	265	281	242	247	247	96	106

※R1年度分から登録制度を改め、集計方法を変更

（6）ルネッサンス青年団事業

○若者による地域活性化に向けた各種地域活動を強化し、かつての青年団活動のように職場を超えた交流の場、出会いの場を設ける活動の経費の一部を助成。中山間地域での若者同士の交流や移住者と地元住民との交流などにつながった。

助成件数：7件 参加人数：251人（助成対象人数：240人）

(7) 「田舎暮らしはカッコいい！」和歌募集事業

○全国各地から農山漁村等に暮らし、四季の移ろいや農作業等から感じる思い、自然と共生するライフスタイルなどを詠んだ和歌及びライフスタイルをアピールする文を6月14日から9月20日まで3か月にわたり募集し、事前審査(2回)及び公開による最終審査会(12月7日)を経て最優秀賞等を決定した。

応募件数：371人、541首

<第5回最優秀賞>

「丹精の西瓜 タヌキが食い荒らす まぁいいだわい 孫はまた来る」

(知夫村 林 正己さん ※2年連続)

事業報告の附属明細書

本書の他に、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。